

H29年度学校評価の自己評価書 (様式1)

カテゴリーの項目	内容	平均点	現在の状況(必要に応じて過去の状況)	裏付けとなる資料(データ名)	課題及び改善すべき点
I. 教育理念・教育目的・教育目標	教育理念・教育目的の意義、看護専門職についての考え方、看護教育についての考え方、学習・教育観と学生観を明文化しているか、法的整合性と独自性の有無、教育理念・教育目的の評価の妥当性について評価します。(5項目)	3.0	教育理念・教育目的・教育目標は明確に示している。教育目標は学年別に示し、学生一人一人が実現可能なものになっている。	学生便覧 ホールの提示物	学生便覧を常に携帯させ、年度初め、個別指導に活用することを継続する。
II. 教育課程経営	教育課程編成に関する一貫性・整合性や科目・単元構成、単位履修の考え方・科目の配列・単位認定の考え方・評価の体系が整備され、妥当性があるか、教員の教育・研究活動の充実するシステムの整備されているか、学生の看護実践体験の保障や臨地実習における安全対策は整えられているかについて評価します。(20項目)	2.9	実習指導に関する経過記録に関する取り決めがなく、自由裁量で行われている。また、実習指導要綱がない。	学生便覧	実習指導要綱の作成と実習指導経過記録の検討が必要である。
III. 教授・学習・評価過程	授業内容と教育課程との一貫性、看護学としての妥当性、授業内容間の関連と発展、授業の展開過程選択の妥当性、目標達成の評価とフィードバックの計画性と公平性、学習の動機づけと支援は適正に行われているかについて評価します。(14項目)	3.0	職員及び外部講師でシラバスを作成し学生に提示し活用している。授業評価を実施し、集計結果を一部講師に配布し、次回の授業の参考になっている。	職員・講師のシラバス 授業評価結果	
IV. 経営・管理過程	設置者の意思・指針が明示され理解されているか、組織体制システムのが整えられているか、財政基盤の考え方の明確化、施設設備の整備を計画に行っているか、学生生活の支援体制は整えられ、活用されているか、養成所に関する情報提供を適切に行っているか、養成所の運営計画と将来構想は一致しているか、自己点検・自己評価体制を整え、フィードバックしているかについて評価します。(25項目)	3.0	図書・教材等について、学生の希望も取り入れながら計画的に更新・整備している。	学校運営会議録 教員会議録	
V. 入学	入学者の選抜の考え方と教育理念・教育目的との整合性、選抜の公平性、選抜方法の妥当性、入学希望者開拓への取り組みについて評価しています。(2項目)	3.0	入学者選抜の規程が明確で分析、検証している。	入学試験規程 入学試験委員会	
VI. 卒業・就職・進学	進路選抜の状況と教育理念・教育目的との整合性、卒業時の看護実践能力および卒業後の活動状況の把握、活用について評価しています。(7項目)	2.3	卒業時の到達状況、就職進学状況は分析できているが、卒業生の状況は把握分析ができていない。	単位認定 看護技術到達度評価 就職進学状況	就職先や学生と情報交換等の体制を整えて把握して、分析していく必要がある。
VII. 地域社会/国際交流	地域社会と交流するための体制整備、地域社会における資源の活用、国際交流のための体制整備について評価しています。(8項目)	2.8	HP、学校説明会、公開講座を実施して情報発信している。地域の様々なボランティア活動にも参加している。英語や国際看護学の中で活動している看護師から授業を受ける機会を設けている。	HP 学校説明会 公開講座	留学生等の受入に関する規程を検討する。
VIII. 研究	教員の研究活動の支援と保障について評価します。(3項目)	3.0	研究活動に意欲的に取り組んでいる。研究助成金を活用して学会や研修会に参加している。また、誌上・学会発表を行っている。	学会参加状況 研究助成金規程	

学校評価の結果について

当校では、職員による学校評価を実施し、学校経営・管理及び教育活動等、教育の質向上に努めています。

平成29年度に実施した学校評価の結果をご覧ください。

【学校評価の方法】

1.校内に学校評価委員会を設け、学校評価の企画立案、進行管理、分析及び報告書の作成を行いました。

2.学校評価の視点は下記の8項目です。

I. 教 育 目 的・教育目標

II. 教育課程経営

III. 教授・学習・評価過程

IV. 経営・管理過程

V. 入学

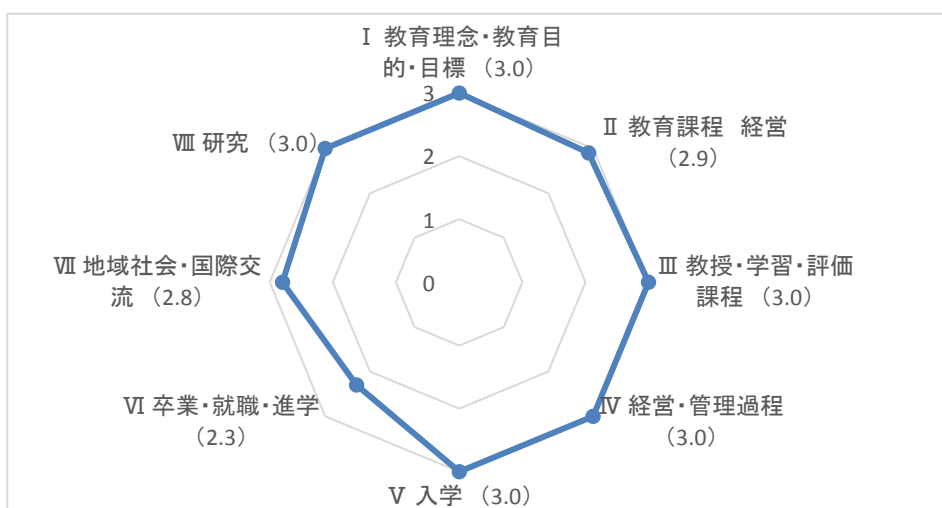
VI. 卒業・就職・進学

VII. 地域社会・国際交流

VIII. 研究

【学校評価の結果】

8項目の評価基準は、「3、当てはまる 2、やや当てはまる 1、当てはまらない」です。



【課題】

II. 臨地実習指導者と教員の役割の明確化のための実習指導要綱を整備する。

臨地実習指導者と教員の指導経過記録を検討し協働体制を整備する。

VI. 卒業生の状況を把握、分析しているが、就職先や卒業生との情報交換を行う体制を整備する。

VII. 留学生の受け入れに関する規定を作成する。

	カテゴリー	点数
I	教育理念・教育目的・目標 (3.0)	3
II	教育課程 経営 (2.9)	2.9
III	教授・学習・評価課程 (3.0)	3
IV	経営・管理過程 (3.0)	3
V	入学 (3.0)	3
VI	卒業・就職・進学 (2.3)	2.3
VII	地域社会・国際交流 (2.8)	2.8
VIII	研究 (3.0)	3